

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-1 健康づくりの推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 薬事衛生課長 伊藤 耕 電話番号 0852-22-5257

事務事業の名称	エイズ予防対策推進事業	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	エイズのまん延防止を図る
事業概要	1 エイズ予防のための普及啓発事業：エイズに対する正しい知識を普及するため、県民に対し、キャンペーン、出前講座、講演会等を実施する。 2 エイズの早期発見対策事業：エイズ感染者を早期発見するため、県民に対し、無料相談、検査を実施する。 3 エイズ医療体制確保事業：適切な医療を提供できるようにするため、エイズ拠点病院に対し、カウンセラー（臨床心理士）派遣をするとともに、研修会へ医師等を派遣する。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	患者発生数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	
式・定義	患者発生数		実績値	0.00	0.00	1.00	2.00		
			達成率		0.00	0.00	0.00		%
指標名	患者発生数		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	2,640	4,368
うち一般財源 (千円)	1,322	2,187

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年度は、エイズ患者の報告が2名、HIV感染者の報告が2件あり、平成23年以降で最も報告が多かった。全国的に感染が判明した時には既にエイズを発症しているケースが多いため、今後も患者の発生報告が予想される。
 エイズ発症の前に感染が判明した場合は、薬剤の発達によりエイズ発症を長期にわたり押さえることができるようになった。このため、早期にHIV感染が発見できるように、保健所におけるエイズ相談、HIV無料検査の体制を整えており、また、エイズ出張講座や世界エイズデーに街頭キャンペーンを開催するなどの普及啓発に努めている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- エイズ予防のための普及啓発事業
 - ・中高生に向けてのエイズ出張講座を実施
 - ・水郷祭等のイベントで該当キャンペーン実施
 - ・12月のエイズデーに街頭キャンペーン実施
- エイズの早期発見対策事業
 - ・保健所での無料検査及び無料相談実施
 - ・6月のHIV検査普及週間にて広報
 - ・9、10月及び12月に夜間・休日検査実施
- エイズ医療体制確保事業
 - ・エイズ拠点病院に対しカウンセラー（臨床心理士）派遣
 - ・研修会へ医師等を派遣

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

保健所で実施している無料検査や無料相談の実施件数が、横ばいであり検査件数の増加が望まれる。

②困っている状況が発生している「原因」

HIV検査に対する知識、理解が不足していると考えられる。

③原因を解消するための「課題」

エイズを発症してから検査を受けて判明するケースが半数あるため、早期に感染を把握すべき事など、無料検査について周知する。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

HIV感染についての知識を広めるため、今後も出張講座等により普及する必要がある。また、様々な広告媒体を活用してHIV検査の必要性についてPRを行う。無料検査については、引き続き保健所で実施する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）